少年よ、アッラーの名を唱えよ。右手で食べよ。自分の近くから食べるのだ。

ウマル・ブン・アビー・サラマ（アッラーのご満悦あれ）は言った： 私は子供で、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）の後見下にあった。そして私の手は、皿の上をひっきりなしに動いていた。それでアッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は私に言った：「少年よ、アッラーの名を唱えよ。右手で食べ
よ。自分の近くから食べるのだ。」それ以来、それが私の食べ方になっているのである。 [صحيح] [متفق عليه]

ウマル・ブン・アビー・サラマ（アッラーのご満悦あれ）は伝えている。彼は預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）の妻ウンム・サラマ（アッラーのご満悦あれ）の連れ子で、預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）の後見下にあった。ウマルの手は食事のとき、食べ物を選ぼうとして食器の上をあちらこちらと行き来していた。それを見た預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、食事の礼儀作法の内の３つを彼に教えた。 １つ目は食べる前に、「ビスミッラー（アッラーの名において）」と唱えることである。 ２つ目は、右手で食べること。 ３つ目は、自分の近いところから食べ物を食べることである。

https://sunnah.global/hadeeth/ja/show/58120